

令和6年度第2回 学校運営協議会

10月30日（水）第2回学校運営協議会を行いました。今回は学校防災教育連絡協議会を兼ねて行いました。

夏休み期間中の8月8日、南海トラフ地震注意報が発令されたこともあり、福祉避難所開設訓練について、平時の避難訓練についても委員の方や、富士市富士宮市の職員の方と意見を交わす会となりました。

夏季休業に開催した、福祉避難所開設訓練やHUG研修等防災研修について報告 大淵小・中で行われている防災連絡会議に参加等地域との連携について報告を行いました。また、参加した富士市防災危機管理課、富士市高齢者支援課、富士宮市危機管理局、富士宮市障がい療育支援課、福祉部の福祉部の方よりそれぞれの立場から意見をいただきました。また、委員の方からも忌憚のない意見を出していただきました。以下、いただいた意見を記載します。

【避難訓練について】

施設でも訓練をしているが、学校はより細かく行っているという印象。是非このまま続けてほしい。地震が起きる可能性が高いので、お邪魔でなければ地震訓練を見てみたい。

年6回、毎回内容が違って、丁寧に行っていてよいと思う。福祉避難所開設訓練は初めてで、表示が少なくどう動いてよいかわからなかった。保護者の心構えが必要。自分もあまり心構えがなく参加してしまった。例えば、〇年度は保護者全員参加など、子どもと一緒に保護者も訓練に参加すると心構えができてよいかもしれない。

11月の噴火訓練について、富士市富士宮市は警戒レベル3で市内小中学校は休校となる。マニュアルだと富士特支はレベル4で休校となっているので、すりあわせをしたい。

避難訓練といえば、昔は地震だけだったが、今は火山や水害、ミサイルなどいろいろな場面があり、それぞれでケースが異なる。改めて拝見した。

避難経路が地震と火災の場合とで違う理由は何故か？

学校より→地震と火災とで、場所により通れない所があるため。

【マニュアルについて】

富士特支は職員が206名。毎年、異動が50人。5年で職員がすっかり代わる。マニュアルの共有が難しい。職員の異動が激しい中でのマニュアルの共有が課題。

職員 200 人が同じ気持ちで、が基本。その中の 10～15 人がしっかりと頭に入れて、200 人を動かしていくことが大事。

【福祉避難所について】

委員より→大淵地区では 12/1 に避難所訓練をする。身体障害者、動物、感染者をどう分けるかなど、いろいろ問題がある。避難所に避難して知らないうちにいなくなる人がある。福祉避難所での確認はどうするのか？

学校より→学年主任→主事で人数確認をする。教室で動けない子ども○人教師○人など丁寧に安否確認をする。

委員より→災害が発生して、福祉避難所になるのは、どのような状況か？

富士市より→富士市が指定避難所を指定。富士特支は指定の中でも福祉避難所。一般の人は対象外。グラウンド避難には指定していないので、一般の人は来ないはず。在校生や卒業生が対象。高齢者は想定していない。在校生を引き渡すが、家が住めない、津波の危険があつて家に帰れない人は学校にとどめる。

災害が発生し、行政として支援が必要と判断して、福祉避難所となる。学校と連絡して避難所について確認。学校が安全でなければ開設できない。判断して開設する。

委員より→学校が避難所として機能するか？マニュアルが 1 冊、地域、町内にあるといい。地域全体で知っていることが大事。

富士市より→訓練の後、質問をいただき、熱心にやっていたいている。関係する人、多様な人が訓練に参加することは大事。ボランティアなど。富士特支で受け入れる人数を明確にし、保護者がどんなときにここの福祉避難所を利用するのか。家の耐震性が高くて大丈夫であれば、なるべく家にいた方がよい。大規模停電や医ケアの方は、富士特支に関わらず考える。福祉避難所への前に、災害に関わる避難のしかたを考えておく。家庭での対策とあわせて避難所運営を考えるとよい。

委員より→特支での福祉避難所は注目されている。さらに検討してほしい。

学校より→県内で参考となるようにしていきたい。富士市と富士宮市に協力していただき、話を聞いていただき、富士宮市とは覚書の準備に入ることになり、大きな進展となった。今後ともよろしくお願いします。

【前期評価について】

学校全体の評価及び各学部から報告

委員からの御意見等

富士特支とは20年お付き合いしている。進化がすごいと思う。常に進化していて、頑張っていると感じる。教師の数が少なくなっている。学校評価を公開して魅力を伝えていくとよい。よいことも書いて、わくわく感を出してもよいかと思う。つい、課題に目が行きがち。それと、自画自賛は恥ずかしいという思いがあるかも。褒めていってよい。

職員室の設備や働き方について厳しい意見があった。原因が分かっていることについては、厳しい意見があってもいい。全て高い評価というのは疑問。意図的に評価が弱くなる項目も入れるとよい。昨年と比較することや、課題ばかりでなくここまで到達しているとみんなで確認することも大事。それぞれ価値観が違う。子どもにどう指導するか、その場でなく全体を見て。威圧的な場面はあると思うがダメ。立ち止まって考える。指導していくうえでは大切なこと。現在、子ども350に対して職員200（180）。定数改善で教員は増えているかと思うが、思い切ったことをやる必要があるかもしれない。